

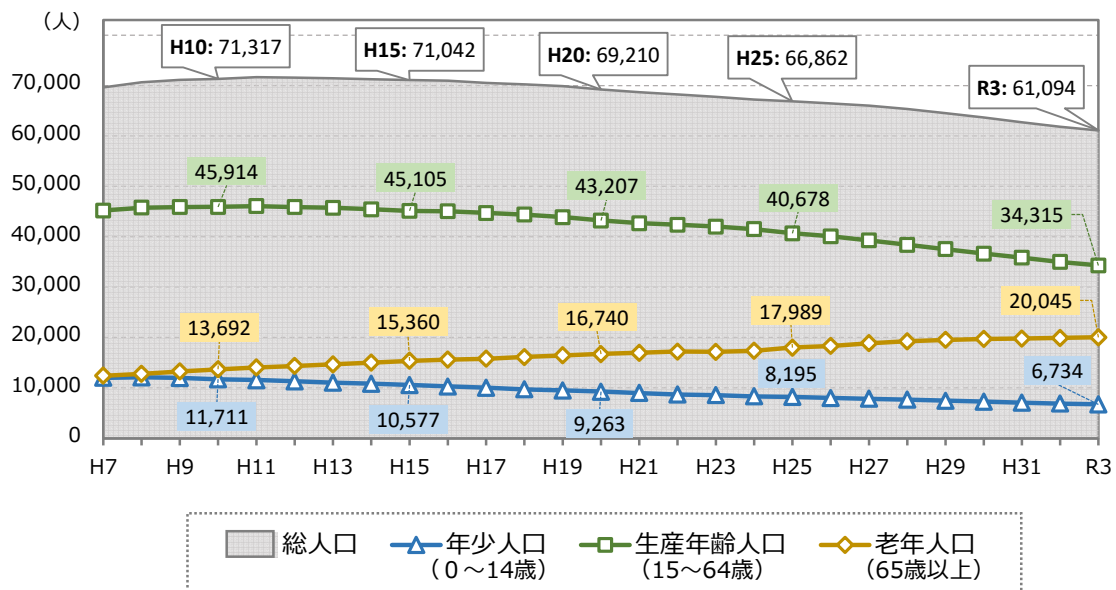
1. 市の現状

(1) 人口の推移

総人口は減少で推移しており、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）は減少ですが、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。

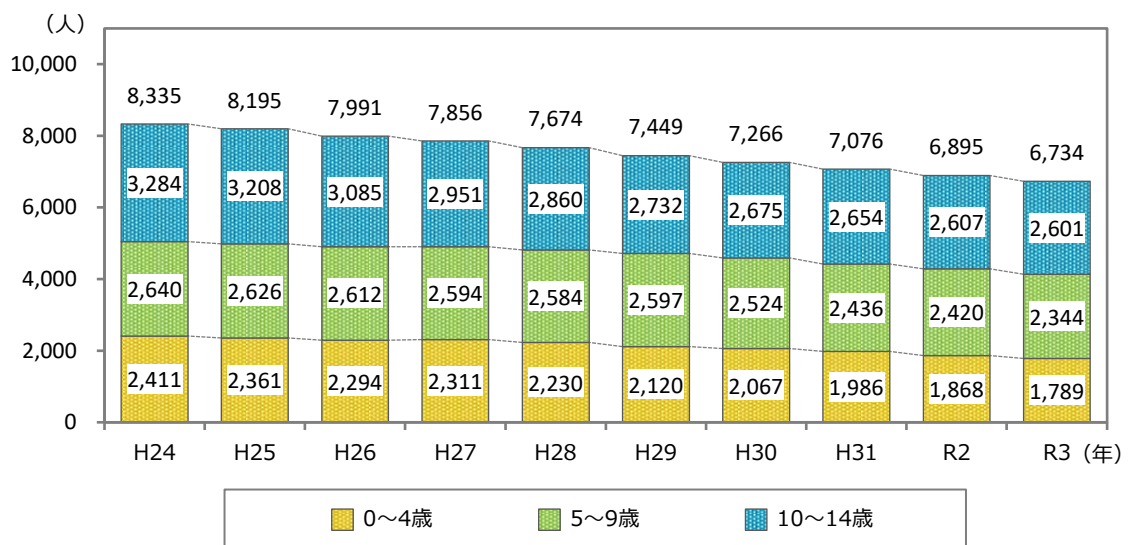
本市の年少人口は年々減少で推移しています。特に平成27年以降は、出生数の低下の影響もあり、0～4歳児の減少割合が高くなっています。

■総人口の推移



出典：総務省「住民基本台帳」

■年少人口の推移



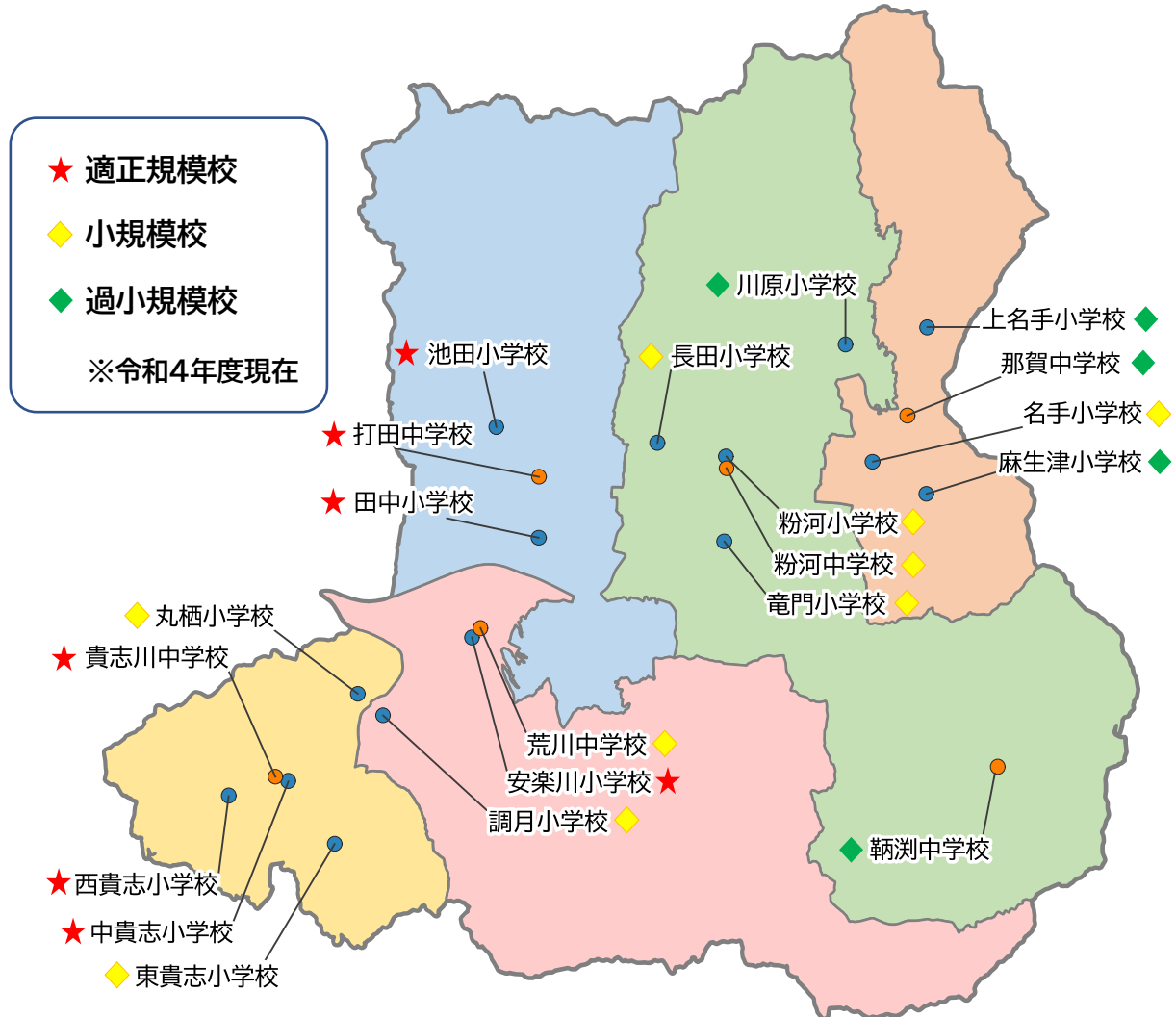
出典：総務省「住民基本台帳」

(2) 小中学校の配置状況

令和4年度現在、下図のとおり学校が配置されています。

適正規模校を見ると、小学校5校、中学校2校となっています。ただし、児童生徒数の減少により、令和6年度には適正規模校が小中学校とも2校ずつになると見込まれるため、学校の適正規模・適正配置の必要性が高まっています。

■小中学校の配置 ※休校を除く



過小規模校：1～5学級（小学校：複式学級が存在する学校規模）

（中学校：1～2学級では複式学級が発生。3～5学級では1学年あたり1学級は維持できている学校規模）

小規模校：6～11学級（1学年：小学校1学級は維持できている学校、中学校2学級～3学級）

適正規模校：12～18学級（1学年：小学校2学級から3学級ある学校、中学校4学級～6学級）

大規模校：19～30学級（1学年：小学校3学級から5学級ある学校、中学校6学級～10学級）

過大規模校：31学級以上（1学年：小学校5学級以上ある学校、中学校10学級以上ある学校）